

諏訪地方の経済概況速報

平成24年 4月

(平成24年 3月末調査)

平成24年 4月23日

長野県岡谷市郷田2丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【2月】	諏訪公共職業安定所管内	0.84倍	+0.18ポイント
手形交換高【3月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	5,748枚	△2,000枚
	金 額	6,659百万円	△2,885百万円
	うち不渡り	0枚	△8枚
	発生状況	0千円	△8,703千円
電力使用量【3月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	73,928MWh	+9.5%
	高压電力計	99,526MWh	△6.5%
	合 計	173,454MWh	△0.3%
車庫証明取扱件数【3月】(諏訪地方合計)		1,757件	+16.4%
新設住宅着工戸数【H23.4~H24.2】(諏訪管内)		978戸	+8.8%

□本文は、当金庫の取引先約130社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

日本経済全体では3月後半から、欧州債務問題のリスク低下や超円高の是正、震災復興需要などで景気回復への期待感が出る中、諏訪地方では、震災の影響を受けた昨年よりは回復基調となり、購買意欲も上がりつつある。エコカー補助金が需要を喚起して、自動車関連を中心に回復の兆しが見られるものの、一方で親会社の「海外シフト」、「内製化」、「コストダウン要請」の強化など懸念材料も多い。また、電気料金値上げが地元であると、収益に直接的な影響がある上、さらに原油高による原材料高の圧迫を懸念する声もあり、先行き不安も根強い。

●製造業

自動車部品関連の下請企業の足元の受注水準は、エコカー補助金の復活で新車販売が好調なことから、高水準で推移する企業が多い。タイ洪水後の特需も見られる。反面、大手メーカーの多くが海外シフトの強化を進める傾向で、対応が迫られている。工作機械などの産業設備関連では、受注先の在庫調整や円高、内製化、震災の反動の影響を受け、増減さまざま。デジタル一眼レフカメラやレンズ関連の下請企業の受注も生産拠点の移転、円高、コストダウン要請を背景に、今後の見通しは親会社により増減がある。

●商業

諏訪地方の3月の天候は、低気圧や前線の影響で、雨や雪が降った日が多くなったため、日照時間が少なかった。

総体的には、今年に入って消費意欲が上がっている傾向がある。衣料品は入学、新社会人関連が好調で、食料品では薬物野菜が高止まりだったが、生鮮食品や惣菜など「中食」の売

り上げが伸びた。昨年は震災の影響で「買いだめ」傾向があった一般生活品や加工食品は減少した。家電製品は減少傾向の中で、太陽光発電関連に対する関心の高まりがある。

自動車販売は、諏訪地方の3月の車庫証明件数が1,757台と前年同月比248台の増加(+16.4%)となった。エコカー補助金の復活や新型エコカーの人気などから、販売台数は回復している。新車購入意欲の高まりは中古車にも好影響が出ており、例年、新車購入が多い新卒者が、中古車を購入するケースも目立った。

●観光業・サービス業

諏訪地方の3月の入り込み客数は、震災で大幅減少だった昨年比では増加した。なかでも、諏訪大社の3月の参拝者数は約43千人と昨年比に比べ、約12千人の大幅な増加となった。参道の土産店などはオフシーズンではあるものの、個人、団体とも例年以上の入り込みがあった。諏訪地方の観光施設は、社名変更し施設を刷新したスキー場が活気を呈す一方、前年より落ち込む施設など、増減さまざま。法事や歓送迎会の売上が好調だった施設もある。花見は寒さで開花予想が遅れ、予約状況は厳しい。観光シーズンを迎えるが、今年は首都圏から東北方面への「復興応援」の企画ツアーの本数が増え、諏訪地方の施設への予約や集客に影響が出ることが予想されている。

●建設業

市町村の3月の発注工事は、建築工事7件、土木工事及び下水道工事19件、その他工事8件の合計34件2,507百万円で、前年同月比で件数は22件減少したが、契約金額は大規模な小学校改築工事があり300百万円の増加となった。県関係の3月の公共工事(地元業者受注分)は8件262百万円、また平成23年4月～平成24年3月の累計契約は203件3,997百万円と前年同期累計比で件数は23件減少、契約金額は1,547百万円の減少となった。

民間工事は、諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は48戸で前年同月比は8戸の減少(△14.3%)だった。平成23年4月～平成24年2月の年度累計は978戸で、前年同期累計に比べ79戸の増加(+8.8%)となっている。公共工事の発注数が減少し、総体的には民間工事も低調で推移している。

●雇用

諏訪地方の2月の有効求人倍率は0.84倍と前年同月を0.18ポイント上回った。全国の同倍率は0.75倍、長野県の同倍率は0.80倍となっている。

諏訪地方の2月の新規求人数(全数)は1,399人で前年同月比118人の増加(+9.2%)、新規求職者数(全数)は1,173人で前年同月比24人の増加(+2.1%)だった。産業別の前年同月比の新規求人数は、製造業で14.8%増加、飲食店・宿泊業で15.1%増加、その他サービス業で45.6%(うち派遣業202.3%)増加した。2月の1件10人以上の人員整理は0件、事業主都合による雇用保険資格喪失は51人で前年同月比21人減少、前月より8人増加した。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	DRAMの高騰などエルピーダ倒産の影響がやや出ている。
プリンター	下請企業の受注は、親企業の決算関連での在庫調整もあるが、総体的に弱含み。
コンタクター・リレー	3月は在庫調整の影響があったが、4月から当面は、受注が順調に推移する見通し。

2. 輸送用機械

自動車	下請企業は、エコカー補助金を背景として新車販売が好調なことやタイ洪水後の特需などで、足元の受注は前月比、前年比とも増加とする企業が多い。長期的には、親会社の海外移転を前提に、他産業の受注割合を増やす方向性を探る動きもある。
ピストンリング・シリンダーライナー	円高や欧米景気の影響を受け、受注は弱含みで、回復見通しも懸念される。
船外機	アジア向けを中心に、高水準の生産が続いている。

3. 一般機械

工作機械・専用機	価格競争が激しく収益性は厳しいが、当面は現状推移の見通し。
搬送用機械	食品や医療設備をはじめ、各業種向けとも安定した受注となっている。
金型	携帯電話や医療器関連の新規受注、震災の反動、在庫調整など増減は企業によってまちまち。
ダイカスト	大型バルブの受注が増加傾向。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの2月の生産台数は887万台で前月比50.1%増加、前年同月比20.2%増加となった。2月の出荷台数は国内出荷84万台、海外出荷763万台の合計848万台で出荷台数全体では前月比51.8%増加、前年同月比は18.1%増加となっている。 デジタル一眼レフカメラの下請企業の受注水準や今後の見通しは、親会社により増減まちまち。
レンズ	円高、ユーロ安の影響を受け、価格競争が厳しい。

5. 織 維

ニット

夏物量産が前年より好調なもよう。原材料価格は高止まりで、販売価格に吸収できない面も。高級品特化の必要性が聞かれる。

6. 食 品

寒天

彼岸の売上は低調で、消費動向は半月ほど遅れ気味。売上は業者間でさまざまだが、全体的には低調。

味噌

生味噌関連の売上は逡減傾向。有機、無添加などの付加価値付与で販売維持を図る。

7. 製 材

諏訪地方の2月の木造住宅着工戸数は29戸で、前年同月に比べ12戸の減少となった。ハウスメーカーに押され、在来工法の売上は減少気味。消費税が上がる前の着工を考える顧客層増を期待する。

8. 建 設

公共工事

3月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所5件、施設課関係工事0件、林道治山工事関係1件、農地整備課0件、その他工事2件の合計8件、契約金額262百万円となった。また、平成23年4月～平成24年3月の累計契約は203件3,997百万円と前年同期累計比で件数は23件減少、契約金額は1,547百万円の減少だった。市町村の3月の発注工事は、建築工事7件2,263百万円、土木工事及び下水道工事19件165百万円、その他工事8件78百万円の合計34件2,507百万円で、前年同月比で件数は22件減少、契約金額は300百万円の増加となった。

民間工事

諏訪地方の2月の新設住宅着工戸数は48戸で前年同月比では8戸の減少(△14.3%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は19戸減少の33戸、「貸家」は9戸増加の11戸、「給与」は同数の0戸、「分譲」は2戸増加の4戸となった。平成23年4月～平成24年2月の年度累計は978戸で、前年同期累計に比べ79戸の増加(+8.8%)となっている。

また、長野県内の2月の新設住宅着工戸数は506戸で、前年同月比21.7%減少と2ヶ月ぶりに減少した。なお、前年同月比の利用関係別では「持家」が362戸で16.6%減少、「貸家」が90戸で31.3%減少、「分譲」が54戸で33.3%減少となった。

9. 商 業

衣料	特別企画を実施した所は入学関連をはじめ、婦人、紳士服とも好調との声があった。
食料品	葉物野菜の価格が高止まりだった。生鮮食品は引き続き好調で、惣菜などの中食類も伸びた。震災で「買いだめ」があった菓子や飲食の加工食品、インスタント食品は減少した。
家電製品	テレビを含め前年比が落ち込む中で、太陽光発電関連の問い合わせがある。一部では太陽光やエコキュート分野への比重変更も考えている。
自動車	エコカーを中心に、販売状況は順調で、4月以降も期待が大きい。消費税が上がる前の補助金効果PRで増加を見込む動きもある。
ホームセンター	住居関連は昨年の震災直後のパニック買いの反動があった。既存店は同業の開店、リニューアルを懸念する。

10. 観 光

上諏訪温泉	前年同月比では大幅増だが、総体的には一昨年並み。諏訪市観光協会が新形態になり、一体的な取り組みが期待される。
蓼科・白樺湖・車山等	前年同月と比べた宿泊者数は、施設により大幅増から減少までまちまち。団体客予約で苦戦する所もあり、復興に向けて東北で展開される誘客の影響が懸念されている。
下諏訪温泉	春休みの家族連れなど小規模旅行が多いが、一部で宿泊客数や客単価を伸ばした。桜の開花予想の遅れで今後期待する。
諏訪大社	震災の影響で大幅減だった昨年に比べ、大幅増になった。下社は3月としては4年ぶりに2万人を越えた。個人、団体とも参拝客は増加傾向にある。